



歳出を目的別で分けると…

<b>民生費</b> 少子・高齢社会に対応するための児童・老人福祉や障害者福祉に使われる経費 23億441万3千円	<b>公債費</b> 町の借金である町債などの元利金の返済に係る経費 10億8,690万9千円	<b>消費費</b> 伊予消防等事務組合に対する町の負担金や災害対策に係る活動などに使われる経費 4億6,203万3千円	<b>商工費</b> 商工業の振興などに使われる経費 3,150万1千円
<b>土木費</b> 道路、水路、公園整備などに使われる経費 20億8,069万2千円	<b>衛生費</b> 健康診断などの保健関係、ごみ収集などの環境保全のための経費 10億5,002万円	<b>農林水産業費</b> 農業の振興、土地改良事業などに使われる経費 2億981万9千円	<b>予備費</b> 1,048万円
<b>総務費</b> 総務管理、税の課税・収納、戸籍・住民基本台帳関係、選挙などのための経費 11億7,274万7千円	<b>教育費</b> 学校教育や生涯学習・文化振興などに使われる経費 9億7,436万2千円	<b>議会費</b> 議員の報酬など議会の活動・運営のための経費 1億1,169万2千円	<b>諸支出金</b> 858万2千円
		<b>災害復旧費</b> 1千円	

使うお金(歳出) □□□□□□□□

歳出は、性質別に見ると義務的経費・投資的経費・その他の経費に大きく分けることができます。義務的経費は、町の運営のため必ず支払わなければならない費用です。投資的経費は、施設建設・道路改良などのために使う費用で、生活水準の向上に役立つものです。

平成20年度は、「第6次松前町行政改革大綱」に基づき、住民ニーズに対応したサービスの維持と健全な財政運営の両立に努めていますが、道路新設改良事業に係る普通建設事業費や道路に係る維持補修費などが大きく増加しています。

義務的経費

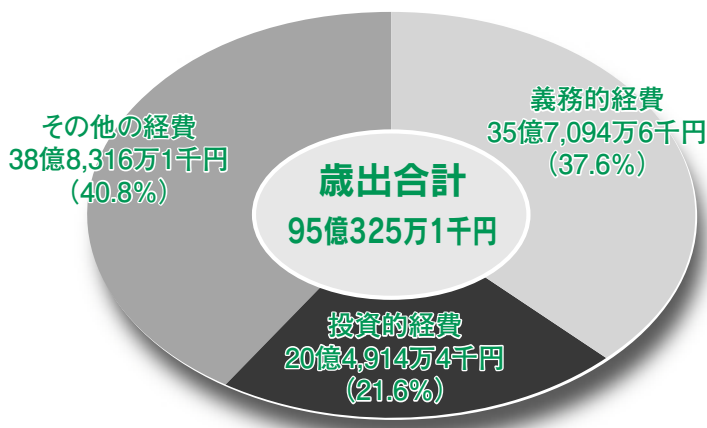
( )は前年度対比

人件費	16億5,837万9千円 ( 0.2%)
公債費	10億8,690万9千円 ( 3.3%)
扶助費	8億2,565万8千円 ( 16.7%)

投資的経費

( )は前年度対比

普通建設事業費	20億4,914万3千円 ( 69.0%)
災害復旧事業費	1千円 ( 0.0%)



その他の経費

( )は前年度対比

補助費等	14億3,308万9千円 ( 9.3%)
物件費	13億2,596万3千円 (△ 2.0%)
繰出金	9億3,651万円 (△ 15.4%)
維持補修費	1億5,937万6千円 ( 74.0%)
投資及び出資金・貸付金	1,329万6千円 ( 13.6%)
予備費	1,048万円 ( 7.8%)
積立金	444万7千円 ( 59.4%)